

# 出場権利獲得の仕組みについて

●全日本ジュニアファイナルカップの出場権利を獲得する為の要件です。以下(1)～(4)となります。

(1) 総極真が指定した空手の大会(権利大会)で上位入賞した選手に出場権利が与えられます。

- 入賞に関係無く、各上級クラスで、クラスの人数が31人以下は、ベスト4迄の選手
- 入賞に関係無く、各上級クラスで、クラスの人数が32人以上は、ベスト8迄の選手

(2) 繰上げは既に出場権利を持っている選手が(1)の定義で、更に出場権利を獲得した場合、出場権利を負けた選手に譲る制度となります。

- 各上級クラスで、既に権利を持っている選手に準々決勝(ベスト8)で負けた選手
- 高校生以下が、一般クラスで、一般の選手に準々決勝(ベスト8)で負けた選手

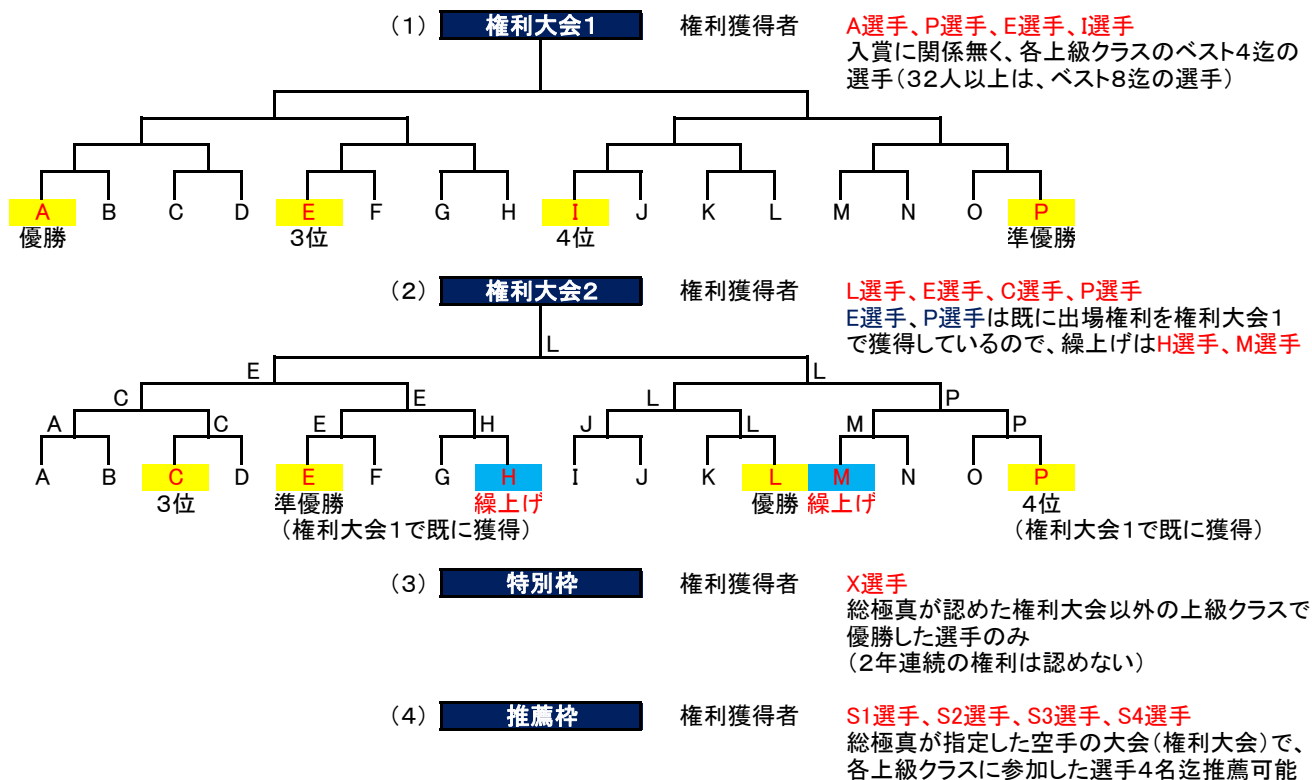
(3) 特別枠は開催期間中に、権利大会以外の県大会以上の上級クラスで優勝した選手のみに出場権利が与えられます。但し、2年連続での権利は基本的に認められませんのでご注意ください。

- 総極真が認めた権利大会以外の上級クラスで優勝した選手のみ(2年連続の権利は認めない)

(4) 総極真が指定した空手の大会(権利大会)に出場した選手の中から、所属道場の判断で、各道場4名迄推薦が可能となります。推薦は、同じクラスに4名、別々のクラスに4名でも可能とします。(道場代表者が最大4名迄、推薦出来ます)

- 総極真が指定した空手の大会(権利大会)で、各上級クラスに参加した選手(道場代表者が4名迄推薦可能)

## ●出場権利獲得の例



## 全日本ジュニアファイナルカップ

出場権利獲得者 A選手、P選手、E選手、I選手、L選手、C選手、H選手、M選手、X選手、S1選手、S2選手、S3選手、S4選手

## ●権利大会の開催期間

例えば、第1回極真全日本ジュニアファイナルカップ(2021年2月6日開催予定)の場合、2019年11月1日～2020年10月31日迄に開催される権利大会が対象となります。それ以降は、第2回大会の権利大会となります。

2019年		2020年										2021年							
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	4月	
第1回権利大会の開催期間												第2回権利大会		開催		第2回権利大会			